

令和3年5月10日
総合政策局
国際政策課(グローバル戦略)
海外プロジェクト推進課

日 ASEAN 相互協力によるスマートシティ支援策 “Smart JAMP” 案件形成調査(都市提案)の第一弾を選定しました！

～海外スマートシティの具体的な案件形成の加速化を図ります～

昨年12月に開催された日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク(ASCN)ハイレベル会合において打ち出した「日 ASEAN 相互協力による海外スマートシティ支援策(Smart JAMP)」に基づき、ASEANにおけるスマートシティの具体的な案件形成を進めているところです。先般、ASCNに参加する10か国26都市に対して案件形成調査の企画提案募集を行ったところ、17都市及び2中央政府から計32件が提案されました。これらの提案を基に、国土交通省において調査方針案を検討し、去る4月20日に開催した「第1回スマートシティ海外展開に関する有識者会議」における助言も踏まえ、今回、都市提案に基づくSmartJAMPの案件形成調査の第一弾を決定し、本日、その発注公示を行いましたので、お知らせいたします。

1. 調査テーマの選定

○ 昨年12月に、ASCNに参加しているASEAN10か国26都市に対して、Smart JAMPに基づく案件形成調査の企画提案募集(2020年12月～2021年2月)を行ったところ、17都市及び2中央政府から計32件の提案があった。そのうち第1弾として19件(12都市、2中央政府)について、各都市等における案件の位置付けや調査の実施可能性等の観点から評価しつつ、調査方針案の検討を行った。

検討した調査方針案については、第1回スマートシティ海外展開に関する有識者会議(令和3年4月20日開催)において、有識者の方々にご助言をいただいた(議事概要:別添1)。

「スマートシティ海外展開に関する有識者会議」委員(五十音順)

筑波大学 石田東生名誉教授(座長)、東京理科大学 伊藤香織教授、東京大学 加藤浩徳教授、国際大学 櫻井美穂子准教授、筑波大学 谷口守教授

○ 上記の検討・助言を踏まえ、19件の内、14件を主たる調査テーマとして選定し、残る5件についても基礎的な調査を上記14件の調査と合わせて行う方針を決定した。

〈調査の実施方針:詳細は別添2参照〉

・マスタープラン調査…3件 ・実施可能性(FS[※])調査…4件 ・プレFS調査…5件
・実証実験…1件 ・その他…1件

※マスタープラン調査…マスタープランの作成・検討

プレFS調査…個別事業の選定や事業の基本的な仕様を検討する調査(FS調査の予備的調査)

FS(feasibility study)調査…個別事業の実施可能性(技術面、経済性等)を検証し、実施計画を策定する調査

2. 今後の予定

○ 令和3年5月10日より発注公示を行い、受注者特定後、6月中旬頃から調査開始予定。

○ 残る13件の提案については、引き続き検討を進め、第2回有識者会議(今月開催予定)にて、有識者の方々にご助言いただき、調査方針を決定予定。

【問合せ先】

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 石井、大野、田村

TEL 03-5253-8111(内線25204、25224)、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562

第1回スマートシティ海外展開に関する有識者会議 議事概要

日時:2021年4月20日(火)14:00~16:00

場所:オンライン

議事概要:

○座長の選任について

石田委員(筑波大学)が座長に選任された。

○調査方針案に対する主な意見

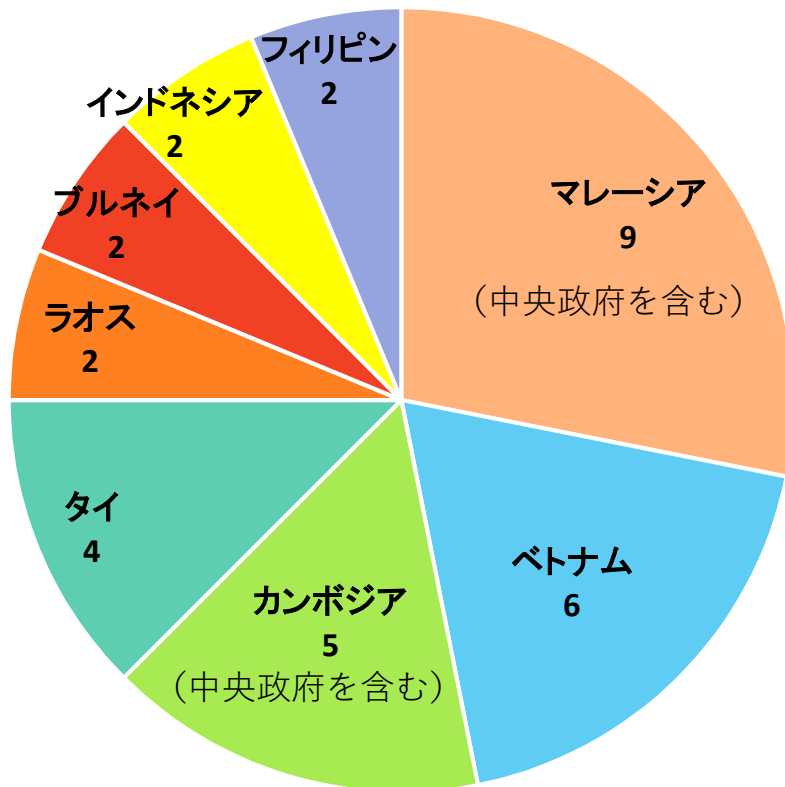
事務局から説明した、第1弾の都市提案19件の調査方針案に対し、委員からの特段の異議はなかった。

調査にあたって留意すべき事項等についての主な意見は、以下のとおり

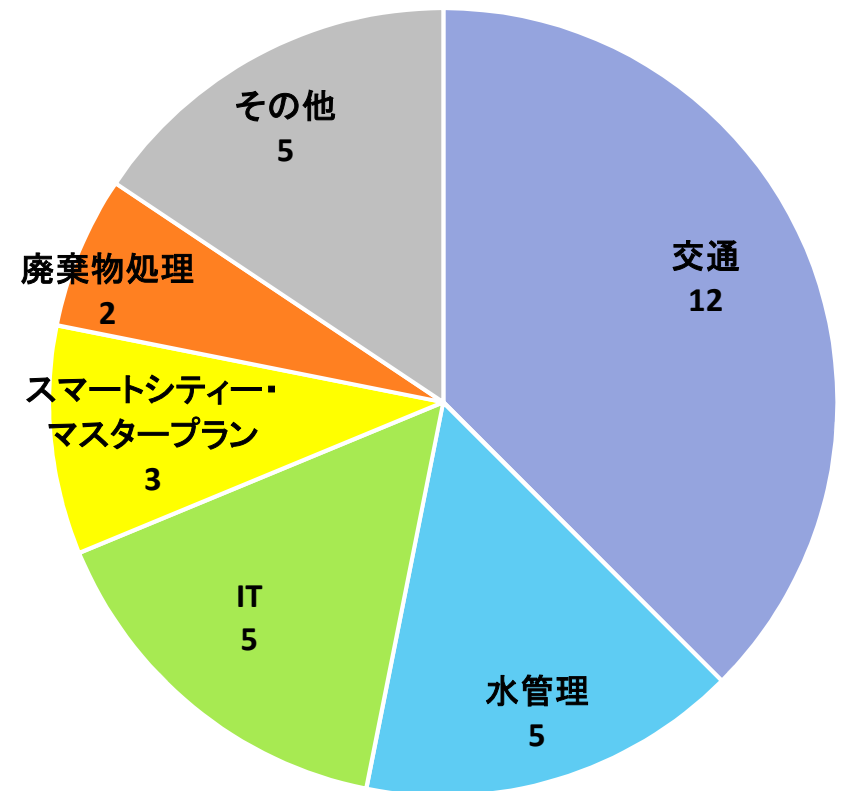
- 案件を実施した場合の効果や、将来的な継続性についても留意していくことが必要。
- 調査実施後の持続性を確保するため、人材育成に取り組むことが重要。
- 今後どのような案件に注力していくべきか、戦略性を持って対応することが重要。
- 都市提案に対応する本邦技術が現時点で特定できない場合でも、それを理由に提案を退けるのではなく、本邦技術の活用可能性も含めて調査をしていくことが重要。
- 既存の本邦技術の適用だけでなく、新たな技術を海外で実証させてもらうくらいの感覚で取り組むことも重要。
- 実証事業を実施する場合には、先方の信頼を失うことがないように、確実に成功させていくことが重要。
- 都市側の提案を受け止めるだけでなく、日本側から逆提案していくことも必要。たとえば都市OSについては、データを分散・連携していくことが日本の目指している方向。データの集約を志向しているように見える都市提案もあるため、データの分散・連携を前提としたプラットフォームを提案すべき。

昨年12月にASCNに参加している10か国26都市に対して、Smart JAMPの案件形成調査の募集をかけたところ、19の提案主体から32の提案が応募されている状況。

国別の提案応募件数



提案内容の分類



SmartJAMP 都市提案調査の実施方針

- ・ 17都市及び 2 中央政府（32提案）の応募
 ⇒ **今回、12都市及び 2 中央政府の調査（主テーマ14・サブテーマ5）について、実施方針を決定**
- ・ 残った 5 都市（13提案）については、第 2 回有識者会議を踏まえ、実施方針を決定予定

国名	都市等名	案件調査名	調査概要	
ブルネイ	バンドル・スリ・ブガワン	2021年度SmartJAMP（ブルネイ・ダルサラーム国・バンドル・スリ・ブガワンにおけるスマートシティ実現に向けた公共交通（バス）管理システム導入等）に関する調査検討業務	バス管理システム等の導入に向けて、現地の交通状況の調査・整理や、必要となる技術の特定、実証実験の計画検討等を実施する。また、現地河川におけるごみの収集にあたって有効な技術等を検討する。	プレFS調査
カンボジア	中央政府	「官民連携による海外インフラ展開の推進経費」（行政部費）を用いて対応予定	（※先方からは、IoTリモートモニタリングを備えた下水道システムの構築に向けた下水道管理マスタープラン策定等について提案）	（その他）
	バタンバン	2021年度SmartJAMP（カンボジア王国・バタンバンにおけるスマートシティ実現に向けたマスタープラン策定等）に関する調査検討業務	バタンバンの具体的なエリアを設定し、そのエリアを対象に、廃棄物管理を含むスマートシティのプロジェクトパッケージとなるマスタープランを検討する。	マスタープラン調査
	プノンペン	2021年度SmartJAMP（カンボジア王国・プノンペンにおけるスマートシティ実現に向けたスマートバスシェルター導入）に関する調査検討業務	スマートバスシェルター構築に向けて、公共バスの運営状況等の調査・整理や、必要となる技術の特定、実証実験の計画検討等を実施する。	FS調査

SmartJAMP 都市提案調査の実施方針

国名	都市等名	案件調査名	調査概要	
インドネシア	バニュワング	2021年度SmartJAMP(インドネシア共和国・バニュワングにおけるスマートシティ実現に向けたマスタープラン策定)に関する調査検討業務	スマートカンポン(集落)に関する現状を整理するとともに、スマートカンポン推進のためのマスタープラン(Action Plan)の検討等を行い、優先すべきサービス分野の選定と優先プロジェクトの提案を行う。	マスタープラン調査
	ジャカルタ	2021年度SmartJAMP(インドネシア共和国・ジャカルタにおけるスマートシティ実現に向けたマルチモーダル交通プラットフォーム構築)に関する調査検討業務	交通に関するデータの収集・集積・視覚化・分析を可能とするプラットフォームに向けて、既存交通サービスや入手可能なデータの整理等、プラットフォームの大枠の検討等を行う。	プレFS調査
ラオス	ビエンチャン	2021年度SmartJAMP(ラオス人民民主共和国・ビエンチャンにおけるスマートシティ実現に向けたマスタープラン策定)に関する調査検討業務	ビエンチャンの具体的なエリアを設定し、そのエリアを対象に、スマートシティのプロジェクトパッケージとなるマスタープランを検討する。	マスタープラン調査

SmartJAMP 都市提案調査の実施方針

国名	都市等名	案件調査名	調査概要	
マレーシア	中央政府	2021年度 SmartJAMP (マレーシア国・運輸省におけるスマートシティ実現に向けた過積載車両管理システム導入)に関する調査検討業務	ICT機器を用いた過積載車両管理システムの導入に向けて、現地の交通状況の調査・整理や、必要となる技術の特定、実証実験の計画検討等を実施する。	FS調査
	クアラルンプール	2021年度 Smart JAMP (マレーシア国・クアラルンプールにおけるスマートシティ実現に向けたプラットフォーム(都市OS)構築等)に関する調査検討業務	都市OSの活用イメージの全体像やシステム構築案に関する調査検討を行う。また、廃棄物管理システムやシェア自転車等の導入にあたって有効な技術等を検討する。	プレFS調査
	クチン	2021年度 Smart JAMP (マレーシア国・クチンにおけるスマートシティ実現に向けた災害・交通モニタリングシステム構築等)に関する調査検討業務	防災情報及び交通関連情報を住民と共有するためのシステム構築に向けた調査・検討を行う。また、ブロックチェーン導入にあたって有効な技術等を検討する。	プレFS調査

SmartJAMP 都市提案調査の実施方針

国名	都市等名	案件調査名	調査概要	
フィリピン	セブ	2021年度SmartJAMP(フィリピン共和国・セブにおけるスマートシティ実現に向けたモビリティ・データの利活用)に関する調査検討業務	市内交差点に設置されているカメラ映像データにAIを活用した映像分析技術を適用し、交通状況把握への有効性を検証するとともに、分析情報を活用した交通課題解決を提案する。	FS調査
	ダバオ	2021年度SmartJAMP(フィリピン共和国・ダバオにおけるスマートシティ実現に向けた自動交通管制システム改善)に関する調査検討業務	既存のスマート・トラフィック・システムが抱える課題を整理した上で、その課題解決に向けた提案を行うとともに、スマート・トラフィック・システムから得られるデータの活用促進やデータプラットフォームの導入等を提案する。	プレFS調査
タイ	バンコク	2021年度SmartJAMP(タイ王国・バンコクにおけるバンクスーエリアでのスマートシティ実現に向けた推進体制等)に関する調査検討業務	バンクスー中央駅周辺整備におけるスマートシティ構想を実現するため、今後の事業推進体制や実行計画等の検討を行う。	FS調査
	プーケット	2021年度SmartJAMP(タイ王国・プーケットにおけるスマートシティ実現に向けたMaaS等)に関する調査検討業務	プーケットにおいてMaaSに係る実証実験を行うとともに、実験を通じたスマートシティの検討、公共サービスとの連携プラットフォームの検討、実施機関の実務能力開発のサポート等を実施する。	実証実験

参考・残った5都市(13提案)の概要

国名	都市等名	提案概要
カンボジア	シエムリアップ	スマートシティに向けたロードマップ草案に関するプレFS(①スマートシティデータ収集・分析、②道路監視CCTVシステム導入・現存のデータ収集・分析、③駐車センサーを備えた公共駐車場システム導入、④スマート交通信号システムの改善、⑤観光関連サービスにおけるQRコード開発、⑥観光客用レンタサイクルサービス、⑦埋立地管理におけるモニタリングシステムのガイドライン、⑧公共のセンサー付きゴミ箱等のゴミ収集IoT導入の8プロジェクト)
ラオス	ルアンパバーン	排水処理ろ過システム実証
マレーシア	ジョホールバル	スクダイ川の河川環境管理モニタリングシステムのFS調査・実証実験
		ジョホール川の災害リスク管理システムのFS調査・実証実験
		スマートヘルスケア構築に向けたバンダーサイバーポートの調査
タイ	チョンブリ	4K放送実証
		日本企業による5Gに関するFS
ベトナム	ダナン	“Hi-tech park”モデル実証
		市街地公共自転車サービス実証
		デジタル地図(バーチャルダナン)実証
		人民委員会のデジタルトランスフォーメーション
		スマート観光の公共システム実証
		ビーチの監視カメラに関するシステム実証